# 「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」

# 評　価　基　準

（品質・性能等の評価に関する事項）

令和８年版

評価対象材料名　　成形伸縮目地材

細　　目　　ー

一般社団法人　公共建築協会





無断複製・無断転載禁止　一般社団法人 公共建築協会

# 評価基準の説明　【成形伸縮目地材】

## １．評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和７年版９章２節に規定する成形伸縮目地材とする。

## ２．種類

（１）形状による区分

| | |
|---|---|
| 付着層タイプ | 保護コンクリートに対する付着層を備えたキャップと本体を組み合わせ、所定の品質を有する目地材 |
| アンカータイプ | 保護コンクリートに対するアンカー効果を備えたキャップと本体を組み合わせ、所定の品質を有する目地材 |

（２）用途による区分

| | |
|---|---|
| 高さ可変型 | 高さ可変範囲が20㎜以上のもの |
| 高さ固定型 | 高さ可変範囲が20㎜未満のもの |

## ３．引用している規定

（１）標仕　令和７年版

（２）日本産業規格

・JIS A 1415：2013「高分子系建築材料の実験室光源による暴露試験方法」
・JIS A 5756：2025「建築用ガスケット」
・JIS A 6008：2022「合成高分子系ルーフィングシート」
・JIS K 7204：1999「プラスチックー摩耗輪による摩耗試験方法」
・JIS K 7220：2006「硬質発泡プラスチックー圧縮特性の求め方」

（３）建築工事標準仕様書（一般社団法人　日本建築学会）

・JASS 8「防水工事」（2022）

（４）成形伸縮目地材規格　2021年６月１日改訂（成形伸縮目地工業会）

## ４．令和７年度版からの主な改定点

・なし

## ５．その他

（１）［表示項目］とは、評価項目ではないが、当該材料を選定する場合に必要な情報等であり、各製品個々に形状、性能値等を示しておく必要があるものをいう。

（２）「品質・性能」欄の“申請者の規定による。”とは、評価基準としての規定がないため、申請者の規定によることとする。なお、審査は、記入された申請者の規定について、社内規定等と照合して確認することとしている。

（３）用語は、標仕による他、成形伸縮目地材規格による。

（４）赤字は、令和７年版からの改定箇所を示す。


無断複製・無断転載禁止　一般社団法人 公共建築協会

| 評　価　基　準 | 成形伸縮目地材 | 1 |
|---|---|---|

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th>品　質　・　性　能</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td rowspan="3">材質</td><td>本体<br>[表示項目]</td><td>申請者の規定による。</td><td></td></tr>
<tr><td>キャップ<br>[表示項目]</td><td>申請者の規定による。</td><td></td></tr>
<tr><td>ベース<br>[表示項目]</td><td>申請者の規定による。</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="6">寸法</td><td>キャップ幅<br>(mm)</td><td>25</td><td></td></tr>
<tr><td>キャップ高さ<br>(mm)</td><td>25以上</td><td></td></tr>
<tr><td>本体幅</td><td>キャップ幅の80%以上</td><td></td></tr>
<tr><td>キャップの最低かぶり長さ<br>(mm)　(可変型のみ)</td><td>15以上</td><td></td></tr>
<tr><td>ベースの最低かぶり長さ<br>(mm)　(可変型のみ)</td><td>10以上</td><td></td></tr>
<tr><td>ベース幅<br>(mm)　(可変型のみ)</td><td>本体幅 ＋ 40以上</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">品質</td><td>高さ調整の方法</td><td>保護コンクリートの上面から下面にまで達するよう高さの調節が可能なこと。</td><td></td></tr>
<tr><td>外観</td><td>1．異常に湾曲していないこと。<br>2．異常に起伏していないこと。<br>3．異常に粘着する部分がないこと。<br>4．裂けた箇所、切断箇所、折れ曲がり、破損箇所がないこと。</td><td></td></tr>
<tr><td>寸法許容差</td><td><table><tr><th>項　目</th><th>寸法許容差 (%)</th></tr><tr><td>キャップ幅</td><td>≧－ 2.0</td></tr><tr><td>本体幅</td><td>－10.0</td></tr><tr><td>長さ</td><td>－ 0.5</td></tr><tr><td>高さ可変範囲（可変型のみ）</td><td>－ 2.0</td></tr><tr><td>ベース幅</td><td>－ 5.0</td></tr></table></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">性能</td><td>本体</td><td>保護コンクリート層のムーブメントを緩衝するよう、所定の柔軟性、復元性を有しているもの。</td><td></td></tr>
<tr><td>キャップ</td><td>所定の寸法安定性、耐荷重性、耐摩耗性、耐衝撃性を有しているもの。</td><td></td></tr>
<tr><td>ベース</td><td>防水層を傷つけないもの。</td><td></td></tr>
</table>





無断複製・無断転載禁止　一般社団法人 公共建築協会

<table>
<tr><th colspan="3">項　目</th><th>品　質　・　性　能</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td rowspan="6">性能（続き）</td><td>圧縮性能</td><td>20±2℃<br>60±2℃</td><td>
<table>
<tr><th>項　目</th><th>付着層タイプ</th><th>アンカータイプ</th></tr>
<tr><td>最大荷重（N/cm）注）</td><td>160以下</td><td>240以下</td></tr>
<tr><td>目視検査</td><td colspan="2">試験後、キャップ表面に割れが生じないこと。</td></tr>
</table>
注）試験体（高さ80㎜、長さ50㎜）単位長さ当たりの最大荷重</td><td></td></tr>
<tr><td>伸び性能</td><td>-20±2℃<br>20±2℃</td><td>
<table>
<tr><th>項　目</th><th>付着層タイプ</th><th>アンカータイプ</th></tr>
<tr><td>目視検査</td><td>試験後、キャップ付着層部とモルタル面が離脱しないこと。</td><td>試験後、キャップアンカー部分とモルタル面が離脱しないこと。</td></tr>
</table></td><td></td></tr>
<tr><td>耐摩耗性能</td><td>20±2℃</td><td>
<table>
<tr><th>項　目</th><th>付着層タイプ</th><th>アンカータイプ</th></tr>
<tr><td>摩耗質量　(mg)</td><td colspan="2">1,000以下</td></tr>
</table></td><td></td></tr>
<tr><td>加熱収縮性能</td><td>70±2℃</td><td>
<table>
<tr><th>項　目</th><th>付着層タイプ</th><th>アンカータイプ</th></tr>
<tr><td>加熱収縮率　(%)</td><td colspan="2">0.5以内</td></tr>
<tr><td>目視検査</td><td colspan="2">試験後、キャップ部に反り、ひずみ等著しい変形がないこと。</td></tr>
</table></td><td></td></tr>
<tr><td>耐衝撃性能</td><td>20±2℃</td><td>試験後、キャップの表面にひび割れや破断がないこと。</td><td></td></tr>
<tr><td>耐候性能</td><td>63±3℃</td><td>試験後、キャップ部にひび割れが生じないこと。</td><td></td></tr>
</table>

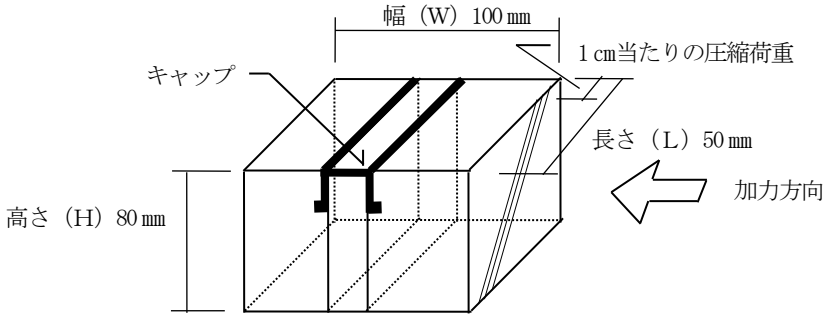
**試験方法**

1．圧縮性能試験は、JIS K 7220に準じて、20±2℃および60±2℃において、圧縮速度1.0㎜/minで、0～30%の圧縮を行う。注1)
2．伸び性能試験は、JIS K 7220に準じて、-20±2℃および20±2℃において、引張速度1.0㎜/minで、0～30%の引張りを行う。　注1)
3．耐摩耗性能試験は、JIS K 7204に準じて、20±2℃において行う。
4．加熱収縮性能試験は、JIS A 5756の「6.9加熱収縮率試験」に準じて、70±2℃において、168時間加熱した後、標準状態で4時間放置する。　注2)
5．耐衝撃性能試験は、JASS 8の「付8. JASS 8 T-501-2014　メンブレン防水層の性能評価試験方法」の「3.2耐衝撃試験」に準じ、20±2℃において、おもりは100g、高さは1.5mとし、3試験片各々のキャップ幅方向中心上に落下させるように行う。
6．耐候性能試験は、JIS A 6008の「8.10.2　b)促進暴露処理」に準じ、63±3℃において行う。　注3)
7．上記以外については、成形伸縮目地材規格の「7.試験」による。

注1)：試験体は、実際の使用条件に近い形状のものとする。
　2)：試験体は、キャップ部のみとする。
　3)：試験体は、原則としてキャップ部から作成する。

**その他**

圧縮性能は、下図の圧縮性能試験体に示す1cm当たりの最大荷重値を規定し、N/cmと表示している。



圧縮性能試験体


令和8年版　　無断複製・無断転載禁止　一般社団法人 公共建築協会